　　　　　　　　　　　　　　第１学年１組　　社会科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年６月１日　水曜日　第３時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　岩　佐　知　彦

１　単　　　元　　　古代までの日本と世界

２　単元の目標

　(1) 古代までの日本の大きな流れについて，世界の歴史を背景に，時代の特色を踏まえて理解

するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付け

ることができる。

　(2) 古代までの日本に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などについて，時期や年代，

推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり，

思考したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。

　(3) 古代までの日本に関わる諸事情について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとす

る。

３　学習の計画　　（17時間完了）

　第１次　第１時　　　　　人類の誕生から古代までの日本と世界の動きを大観し，単元の学習

問題をつかみ，学習計画を立てる。

　第２次　第２時～第５時　人類の誕生や世界の古代文明，宗教のおこりについて調べる。

　　　　　第６時～第12時　日本列島に人が住み始めたことから律令国家の成立までを調べる。

　　　　　第13時　　　　　原始時代から古代の日本旅行の計画を考える。

　　　　　第14時（本時）　原始時代から古代の日本旅行のプレゼンテーションを準備する。

　　　　　第15時　　　　　原始時代から古代の日本旅行のプレゼンテーションを行う。

　　　　　第16時～第19時　律令国家の政治の展開について調べる。

　第３次　第20時　　　　　学習を振り返り，単元の学習のまとめをする。

４　本時の学習指導

(1) 目　　標

　ｏ４人班で協働して旅行パンフレットを作成することができる。

(2) 準備・資料

　ｏ生　徒……ワークシート，タブレット，教科書，資料集

　ｏ教　師……タブレット

(3) 関　　連

　　小６　社会　天皇を中心とした政治（天皇中心の社会が確立までの人々のくらしや人物の働

き，海外の国と日本の国との関わりについて調べる）

(4) 学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　活　動 | 時間 | 指　導　上　の　留　意　点 |
| つかむ | １　本単元の学習課題を確認する。   1. 教師が作成した別時代のプレゼンテーションの完成モデルを観る。 2. 単元の学習課題を確認する。  |  | | --- | | タイムマシンでの旅行パンフレットを作り，紹介しよう！ |   ２　原始時代から古代の日本の旅行パンフレットをタブレットで作成する。   1. 各班で旅行タイトル，コース，見学・体験の順に最低３枚のスライド（PowerPoint）を作成する。   ・生活の変化がわかる弥生時代の旅。  ・佐賀県の吉野ケ里遺跡コース。  ・石包丁を使って穂首狩り体験。  ・青銅器を使った豊穣を願う祭り見学や体験。  ・灌漑施設を用いた水田での苗植え見学や体験。  ・高床倉庫でねずみが返されている場面の見学。  ・指導者の見学。   1. 紹介の役割分担をする。   ・スライドを動かす役。  ・発表する役。  ・役割演技を行う役。   1. 紹介の練習を行う。   ３　教師を相手にリハーサルを行う。   1. １班ごとに教師に旅行プレゼンテーションのリハーサルを行う。 2. 改善点を把握し，紹介の練習を行う。   ・もう少し文字を大きくしよう。  ・笑顔で紹介しよう。  ・お客さんの心に響くように練習しよう。 | ５  25  50 | о生徒が発表にイメージをもつことができるようにさせる。  о古代ではない時代を見せることによって，生徒が教員の作成したプレゼンテーションにならないようにさせる。  о単元の評価基準を確認させ，授業の見通しをもたせる。  о机間指導し，話し合いが止まっていたり，悩んだりしている様子が見られた場合は助言する。  о観光の場所（コース）を遺跡や建造物をたよりに考えるよう助言する。  о旅のポイント（見学・体験）がパンフレットの肝となるように助言する。  о観光の場所（コース）や旅のポイント（見学・体験）が時代と一致するよう気を付けさせる。  оそれぞれの時代に生きる人々の食事や住まいなどについても旅行者が感じ取ることができるよう助言する。  評一人一人がプレゼンテーション資料（PowerPoint）を作成する上で役割を担っている。　　　　（グループワーク）  оプレゼンテーションを行う際に４人全員に役割をもたせるよう伝える。  оお客さんの心に響くようなプレゼンテーションを考えるよう伝える。  о１班５分程度で回していき，他の班がリハーサルを行っている間は，準備や紹介の練習を継続するよう伝える。  оリハーサルをタブレットで録画して自分たちで改善点を見つけさせる。  評一人一人が役割をもって紹介する準備をしている。　　　　　（リハーサル） |
| 追究する |

(5) 本時の評価規準

　　ｏ一人一人が旅行パンフレットづくりに役割をもって取り組んでいる。

（グループワーク，リハーサル）

５　備　　　考

　(1) 学級の実態

　　ｏ生徒の多くは，社会科に興味・関心をもつ生徒が多く，自分の意見を積極的に発言することができる。調べ学習や思考場面では，個別で活動することを通して，自分の意見を構築することができる。しかし，更に他者と協働して意見や考えを交えたり，コミュニケーションを図ったりしながら，一つの作品や発表等を行う機会がない状態である。

　(2) 指導の力点

|  |
| --- |
| ｏ与えた課題は全員同じであるが，作成する旅行パンフレットは各班で異なるものとなる。 |

６　指導と評価